2022年度　第1回　早慶上理難関国公立大本番レベル模試　国語採点基準

1　**文（文章）で解答する設問**の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

a　以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。

b　ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。

c　ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点（独立採点）すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d　**解答通り**という条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

a　答案中に大きな誤読と判定される内容（語句）などがある場合は、その内容（語句）を減点要素として示されている場合もあります。

b　加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a　誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b　脱字。

c　文末の句点の脱落。

※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d　その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e　不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。たとえば「…とはどういうことか？」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

※ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。　また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2　日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3　次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a　答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b　一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c　字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。

d　答案の文章が最後まで完結していないもの。

4　**古文あるいは漢文の訳を記述する設問**の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

早慶上理・難関国公立大模試

第一問　採点基準（合計＝５０点）

問一　６点（各２点）　ａ＝ホ　ｂ＝イ　ｃ＝ハ

問二　５点　ニ

問三　８点（各４点）　Ｘ＝ハ　Ｙ＝イ

問四　５点　ホ

問五　12点

（模範解答例）

自分の絵が売れることだけではなく、闇の中に向かって言葉を投げかけるようにして不特定の人間に書いた自分の文章がなにがしかの感動を与えたり、読まれたりしていることを知ることも不思議なことだと考えている。

各加点要素の加点の条件

【Ａ・Ｂ・Ｃに関して部分採点を行う（Ａ・Ｂ・Ｃそれぞれ単独に採点を行って構わない）】

Ａ　自分の絵が売れることだけではなく…２点

Ｂ　闇の中に向かって言葉を投げかけるようにして不特定の人間に書いた自分の文章が…４点

Ｃ　なにがしかの感動を与えたり、読まれたりしていることを知ることも不思議なことだと考えている。…６点

問六　８点

（模範解答例）

現実とは、この生がかけがえのない夢であることを気づかせ、夢が深まる悦びと怖れを感じさせるように導いていくものである。

各加点要素の加点の条件

【Ａ・Ｂに関して部分採点を行う（Ａ・Ｂそれぞれ単独に採点を行って構わない）】

Ａ　現実とは、この生がかけがえのない夢であることを気づかせ…４点

＊第一段落の「この生は現実ではなく、これこそかけがえのない夢である」という部分を反映していない答案は２点減）

Ｂ　夢が深まる悦びと怖れを感じさせるように導いていく…４点

問七　６点　ロ

大問二　問一

基準　配点：　２点×４

■模範解答　※解答例通り（漢字書き取り問題）

１　精緻　２　早計　３　新奇性　４　追随

大問二　問二

■形式上の不備

・文末表現：要素B参照／理由説明の結び「～から」になっている場合は、要素B不可

・句点の扱い：－点減点

基準　配点：　８点

■模範解答

A

コンサート会場での

B

演奏。（12字）

■採点方法：各要素単独採点

■字数：十五字以内　七字以下のものは全体不可（０点）

■要素A　**コンサート会場での：４点**

・（「スタジオ」に対する）「コンサート会場」について説明していないものは、要素A加点なし

・同意例：一回限りの

■要素B　**演奏：４点**

・要素Aで行われる「演奏」について説明していないものは、要素B加点なし

大問二　問三

基準　配点：　８点

■模範解答　※解答通り（記号選択問題）

ホ

大問二　問四

基準　配点：　６点

■模範解答　※解答通り（記号選択問題）

ハ

大問二　問五

■形式上の不備

・文末表現：要素Ｄ参照／内容説明の結び「～こと」になっている場合は、要素Ｄ不可

・句点の扱い：１点減点

基準　配点：　12点

■模範解答

A

ファン・メーヘレンの本物と見分けられない贋作は、

B

芸術作品の評価が時代や個人との関係とは別に、

C

自由で自分本位のものであっていいということを示し、

D

それは電子メディアによる生産活動の意義を問い直すものでもあるとグールドは考えるから。（113字）

■採点方法：各要素単独採点
■字数：百二十字以内　五十九字以下のものは全体不可（０点）

■要素Ａ　**ファン・メーヘレンの本物と見分けられない贋作は：３点**
・ファン・メーヘレンの作品の性質を説明していないものは、要素Ａ加点なし

■要素Ｂ　**芸術作品の評価が時代や個人との関係とは別に：３点**
・芸術がそれまでどのように評価されていたかについて説明していないものは、要素Ｂ加点なし
・時代、個人、どちらかが抜けていたら△１点

■要素Ｃ　**自由で自分本位のものであっていいということを示し：３点**
・グールドが考える芸術の評価のあり方についての説明をしていないものは、要素Ｃ加点なし

■要素Ｄ　**それは電子メディアによる生産活動の意義を問い直すものでもあるとグールドは考えるから：３点**
・要素ＡからＣのあり方が、電子メディアによる音楽の創造と同じ意味を持つことについての説明をしていないものは、要素Ｄ加点なし

大問二　問六

基準　配点：　８点

■模範解答　※解答通り（記号選択問題）

ロ

★2022年度　早慶上智・難関国公立大模試　第1回　三（古文『うつほ物語』）　採点基準

※ 50点

問一　甲　「今宵」の読みを、ひらがなで記せ。現代仮名遣いでもよい。　【1点】

［正解］　こよひ　（別解　こよい）

［ポイント］

【1点】　※「こよひ・こよい」以外は×。

問一　乙　「思」の読みを、ひらがなで記せ。現代仮名遣いでもよい。　【一点】

［正解］　おぼ

［ポイント］

【一点】　※「おぼ」以外は×。「おぼし」は×。

問一　丙　「万」の読みを、ひらがなで記せ。現代仮名遣いでもよい。ただし、「まん」以外の読みを答えよ。　【一点】

［正解］　よろづ　（別解　よろず）

［ポイント］

【一点】　※「よろづ・よろず」以外は×。「まん」は×。

問二　傍線部①～⑤の敬語のうち、謙譲語はいくつあるか。一つ選び、記号で答えよ。　【4点】

［正解］　ハ

［ポイント］

【2点】　※「ハ」以外は×。「三・三つ」は×。

問三　α　空欄に入る語句として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上用いてはならない。　【3点】

［正解］　ホ

［ポイント］

【3点】　※「ホ」以外は×。

問三　ｂ　空欄に入る語句として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上用いてはならない。　【３点】

［正解］　イ

［ポイント］

【３点】　※「イ」以外は×。

問三　c　空欄に入る語句として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上用いてはならない。　【3点】

［正解］　ニ

［ポイント］

【3点】　※「ニ」以外は×。

問四　A　傍線部を現代語訳せよ。　【４点】

［傍線部］　A｜ものも　B3　聞こし召さず、

［解答例］　A｜食べ物も　B3　召し上がらず、

［採点方法］　各要素単独採点。　［字数］　指定なし。

［ポイント］

A【｜点】ものも　→　食べ物も

※ Bが０点の場合は得点できない。ただし、誤字等で０点になっている場合は得点できる。

※「ものも」のままでもよい。「食事も・何も」などでもよい。

B【3点】聞こし召さず、　→　召し上がらず、

※「食べない」の意がない場合は×。

※ 尊敬表現になっておらず、語尾が連用形と同じ扱いになっていない「食べない」は×。

※ 尊敬表現になっておらず、語尾が連用形と同じ扱いになっている「食べず・食べないで・食べなくて」などは【｜点】。

※ 尊敬表現になっていて、語尾が連用形と同じ扱いになっていない「召し上がらない・お召し上がりにならない・お食べにならない」などは【2点】。

※ 尊敬表現になっていて、語尾が連用形と同じ扱いになっている「召し上がらず・お召し上がりにならなくて・お食べにならないで」などは【3点】。

問四　B　傍線部を現代語訳せよ。ただし、「人」がどのような人物かわかるように訳せ。　【4点】

［傍線部］　A 人をも B 3 えやりたまはず。

［解答例］　A 1 使いの者も B 3 おやりになることができない。

［採点方法］　各要素単独採点。　［字数］　指定なし。

［ポイント］

A【1点】人をも　→　使いの者も

※ Bが0点の場合は得点できない。ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※「使者も・使いも・取り次ぐ人も」などでもよい。「も」は「を・は」でもよい。「使い・取り次ぎ」の意がない「人も・従者も・使用人を」などは×。

B【3点】えやりたまはず。　→　おやりになることができない。

※「やる」は「遣る・送る・向かわせる・派遣する」などでもよしとする。

※「やる＋不可能＋尊敬」の意がある「おやりになることができない・おやりになれない・やることもおできにならない・やることもできなさらない・遣わすことはできない」などは【3点】。尊敬の意は、「おやりになる」ように「やる」の意に添えられていても、「おできにならない・できなさらない」のように「できる」に添えられていてもよい。なお、「遣わす」は、「おやりになる」（＝「やる」＋尊敬）と同意と考える。

※ 尊敬の意がない「やることができない・やれない」（＝「やる」＋不可能）は【2点】。

※ 不可能が単なる打消になっている「おやりにならない・送りなさらない」（＝「やらない」＋尊敬）は【2点】。

※「姫君のもとへ」の意の有無は不問。

問四 C　傍線部を現代語訳せよ。ただし、誰のことを言っているのかわかるように訳せ。　【4点】

［傍線部］　（A1）　B3らうたげなりしを

［解答例］　A1姫君がB3かわいらしい様子であったのを

［採点方法］　各要素単独採点。　［字数］　指定なし。

［ポイント］

A【1点】（人物補い）　↓　姫君が

※ Bが0点の場合は得点できない。ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※ 人物が「姫君」であることがわかれば、「姫君の・姫君の様子が」などでもよい。

B【3点】らうたげなりしを　↓　かわいらしい様子であったのを

※「かわいらしい様子だ」は「かわいらしい・かわいい・可憐だ・いとおしい」等でもよい。この意がない場合は×。

※「かわいい＋過去＋を（のを・ことを・様子を・姿を）」となっている「かわいらしい様子であったのを・かわいらしかったことを」等は【3点】。

※ 過去がなく、「かわいい＋を（のを・ことを・様子を・姿を）」となっている「かわいらしい様子であるのを・かわいらしいことを」等は【2点】。

※ 末尾が「を（のを・ことを・様子を・姿を）」となっていないが、「かわいい＋過去」となっている「かわいらしい様子であった・かわいらしかった」等は【2点】。

※ 過去がなく、末尾も「を（のを・ことを・様子を・姿を）」となっていないが、「かわいい」の意がある場合は【1点】。

問五 X　傍線部は、どのようなことを言っているのか。六〇字以内で説明せよ。　【8点】

［傍線部］　殿のうちにあるときだにあり、まして思しやれ、

［解答例］　A2 両親は、B3 若小君が屋敷にいる時でさえ心配しているのに、C3 まして姿が見えなくなれば、どれほど心配するかを考えよ、ということ。（五九字）

［採点方法］　各要素単独採点。　［字数］　六〇字以内。

［ポイント］

A【2点】両親は、

※ BもCも0点の場合は得点できない。ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※BCの「心配」の主体が「親」であるとわかれば、「親は・親を・父母は」などでもよい。冒頭以外でもよく、解答のどこかで明らかであればよい。

B【3点】若小君が屋敷にいる時でさえ心配しているのに、

※「屋敷（家）にいても心配する」の意があれば【2点】。

※ 右の意があり、「屋敷にいる」の主体が「若小君」とされていれば【3点】。

なお、この「若小君」は、Cで「姿が見えなくなる（いなくなる）」の主体、もしくは、「新倍する」の対象として書かれていてもよい。

C【3点】まして姿が見えなくなれば、どれほど心配するかを考えよ、ということ。

※「姿が見えなければ（家からいなくなれば・失踪すれば・居なくなれば・無断で外出すれば 等）どれほど心配するか（ひどく心配する）」の意があれば【2点】。

※ 右の意があり、それを「考えろ（思いやれ・推し量れ 等）」の意もあれば【3点】。

問五 Ｚ　傍線部は、どのようなことを言っているのか。四〇字以内で説明せよ。　【６点】

［傍線部］　けしきとりて問ひたまふ

［解答例］　Ａ［若小君の］Ｂ［思い悩む様子を見て取った］Ｃ［父や兄が、］（Ａ）若小君にＤ［事情を尋ねた、ということ。（三八字）

［採点方法］　各要素単独採点。　［字数］　四〇字以内。

［ポイント］

Ａ【１点】若小君の　～　若小君に

※ＢもＤも０点の場合は得点できない。ただし、誤字等で０点になっている場合は得点できる。

※Ｂの「悩む（物思いに耽る）」の主体、もしくはＣの「尋ねた（聞いた・質問した）」の対象が「若小君」となっていれば【１点】。

Ｂ【２点】思い悩む様子を見て取った

※「悩む（物思いに耽る）」のを見て（気づいて・察して・心配して・気にとめて・気にして）」の意があれば【２点】。

※「悩む」の内容が「姫君に連絡をとりたがっている・恋に悩んでいる・姫君のことで悩んでいる」など具体的になっている場合は【１点】。

（ここでは、若小君が何について悩んでいるかが分からないので、父や兄は事情を尋ねているのである。）

Ｃ【１点】父や兄が、

※ＢもＤも０点の場合は得点できない。ただし、誤字等で０点になっている場合は得点できる。

※Ｂの「見て取った（見た・気づいた・察した・心配した・気にとめた・気にした）」の主体、もしくは、Ｄの「尋ねた（聞いた・質問した）」の主体が「父と兄」となっていれば【１点】。

※「父」は「親・父親」でもよい。

※「父」か「兄」のどちらかが欠けている場合は×。

Ｄ【２点】事情を尋ねた、ということ。

※「事情（様子・わけ・どうしたのか）を尋ねた（聞いた・質問した）」の意があれば【２点】。「問題にした」は×。

「事情（様子・わけ・どうしたのか）を」が不明な、単なる「聞いた・質問した」等は【１点】。

問六　傍線部とあるが、なぜか。その理由を、本文に即して五〇字以内で説明せよ。　【６点】

［傍線部］　夜昼嘆く。

［解答例］　A2 少しでも姫君に伝言を届けたい、訪ねて行きたいと思うが、B2 両親の監視が厳しくて、C2 かなえられないから。　（四八字）

［採点方法］　各要素単独採点。　［字数］　五〇字以内。

［ポイント］

A【2点】少しでも姫君に伝言を届けたい、訪ねて行きたいと思うが、

※「思う」の主体「若小君は」の有無は不問。

※「姫君が恋しくて・姫君のことを思い出して」といった内容の有無は不問。

※「姫君に伝言したい（連絡したい）」の意があれば【1点】。「姫君のもとへ行きたい（姫君に会いたい）」の意があれば【1点】。

※ 対象が「姫君」であることは、解答全体から読み取れればよい。「姫君」が明らかでない場合はAの得点からマイナス【1点】とする。

B【2点】両親の監視が厳しくて、

※「監視が厳しくて」は「厳しくて・外出が禁じられて」などでもよい。

※「両親」は「親・父母・周囲」などでもよい。これが明らかでない場合は【1点】。

C【2点】かなえられないから。

※ Aが0点の場合は得点できない。ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※「できないから・難しいから・出かけられないから・どうにもならないから」などでもよい。

問七 『うつほ物語』は平安時代中期に成立した長編物語で、『源氏物語』の成立への影響も考えられる作品である。次の中から『うつほ物語』と同様に『源氏物語』以前に成立した物語を一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

［正解］ ロ

［ポイント］

【3点】 ※「ロ」以外は×。

2022年度（5月実施）第1回　早慶・難関大模試　「説苑」君道

四（漢文）採点基準（合計＝50点）

問一　各2点　＝8点

解答　a＝うれへ（え）　b＝すなは（わ）ち　c＝その　d＝なんすれぞ

採点基準　＊歴史的仮名遣いと現代仮名遣いが混ざっている場合は、どちらかに統一するように注意を促してください。

例　a「うれへ」b「すなわち」　歴史的仮名遣いに統一しよう。「すなはち」

a「うれえ」b「すなはち」　現代仮名遣いに統一しよう。「すなわち」

問二　5点　【解答通り】

解答　雲

問三　5点×2　＝10点　【解答通り】

解答　（一）使三人乗レ駅東而問二諸太史州黎一

採点基準　完答のみ5点。部分点なし。

（二）イ

問四　5点　【解答通り】

解答　ハ

問五　7点

a1点　b1点　c2点　d1点　e2点

解答例

今にも　自分自身を　犠牲にして　神に　祈ろうとした。

採点基準　＊a「今にも」は「まさに」「ちょうど」なども可。

＊d・e「神に・祈ろうとした」の中身「王の身代わりになる」などは不要。

＊c「犠牲にして」がない場合は、「王の身代わり」などに2点。

＊「わざわい」の漢字は、「災い」「禍」。「禍」は示偏に注意してください。

問六　12点

解答例

a 3点

君主と臣下の関係は　人間の身体の胸と手足と　同じであり、

b 3点

胸の病気が　手足に移っても　治ったことにならないように、

c 3点

昭王のわざわいが　臣下に移っても、

d 3点

楚国のわざわいであることに　かわりがない　から。（八十九字）

採点基準

＊a・bの比喩表現に6点。c・dの置き換えに6点。

＊aの「王」は「君主」なども可。「臣下」は「家来・家臣」なども可。

＊cの「昭王」は「王」も、「臣下」は「令尹・司馬」も、可。

＊d「楚国」は「国」も可。

＊d・d「わざわい」は「災厄・災難・危険・危機」「悪影響」「不幸」なども可。

＊「わざわい」の漢字は、「災い」「禍」。「禍」は示偏に注意してください。

問七　3点　【解答通り】

解答　二

以上